

2021年8月23日

産科医療機関 各位

自宅や宿泊療養施設（ホテル等）の新型コロナウイルス感染妊婦に関する対応について

日本産科婦人科学会
理事長 木村 正
日本産婦人科医会
会長 木下勝之

妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に後期（8か月以降、妊娠28週以降）の感染ではわずかですが重症化しやすいとされています。

もし後期の妊婦さんで妊婦さんに体調の変化や産科的な異常が発生し、入院療養が必要と判断された場合、各地域の新型コロナウイルス感染症患者に対する体制の実情に合わせ、連携の上、妊婦さんを適切に医療機関において診察できるように対応いただければ幸いです。

自宅療養妊婦が下記の如く、産科的な症状を認める場合や呼吸器症状を認める場合、医師の診察が望ましい可能性があり、内科医や救急外来受診等につなげていただきますよう、よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の症状については以下のような対応を妊婦向けに周知しております。

まず、以下の健康観察を行ってください。

- ①呼吸状態、心拍数や呼吸数の計測
- ②体温
- ③パルスオキシメーター（サチュレーションモニター）をお持ちの場合は、酸素飽和度（血液内の酸素の量：SpO₂）の計測

(A) 以下の場合には、かかりつけの産婦人科の先生もしくは保健所に連絡してください。

- ① 1時間に2回以上の息苦しさを感ずる時
- ② トイレに行くときなどに息苦しさを感ずるようになった時
- ③ 心拍数が1分間に110回以上、もしくは呼吸数が1分間に20回以上
- ④ 安静にしていても酸素飽和度が93-94%から1時間以内に回復しない時

(B) 以下の場合は、すぐに救急車を要請してください。

- ①息苦しくなり、短い文章の発声も出来なくなった時
- ②酸素飽和度（SpO₂）が 92%以下になった時

(A)の場合には、自施設もしくは、各地域で整備された新型コロナ感染妊婦の搬送システム（周産期医療リエゾン、保健所、救急隊など）をご活用いただき、早めの入院療養をご検討ください。

【出典】

(1) 英国、National Health Service「COVID-19 感染症を患った患者の方々が自宅で経過観察する場合」<https://www.nhs.uk/conditions/coronavirus-covid-19/self-isolation-and-treatment/how-to-treat-symptoms-at-home/>

(2) 英国産科婦人科学会（RCOG）、「妊娠中の COVID-19 感染」、<https://www.rcog.org.uk/globalassets/documents/guidelines/2021-02-19-coronavirus-covid-19-infection-in-pregnancy-v13.pdf>

2021年8月23日

行政機関 各位

自宅や宿泊療養施設（ホテル等）の新型コロナウイルス感染妊婦に関する対応について

日本産科婦人科学会
理事長 木村 正
日本産婦人科医会
会長 木下勝之

妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に後期（8か月以降、妊娠28週以降）の感染ではわずかですが重症化しやすいとされています。

もし後期の妊婦で妊婦に体調の変化や産科的な異常が発生し、入院療養が必要と判断された場合、各地域の新型コロナウイルス感染症患者に対する体制の実情に合わせ、連携の上、妊婦さんを適切に医療機関において診察できるように対応いただければ幸いです。やむを得ず自宅療養となった妊婦に対して、可能ならば毎日の血中酸素飽和濃度を測定できる環境（配布あるいは往診）を作ってください。

自宅療養妊婦が下記の如く、産科的な症状を認める場合や呼吸器症状を認める場合、医師の診察が望ましい可能性があり、内科医や救急外来受診等につなげていただきますよう、よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の症状については以下のような対応を妊婦向けに周知しております。

まず、以下の健康観察を行ってください。

- ①呼吸状態、心拍数や呼吸数の計測
- ②体温
- ③パルスオキシメーター（サチュレーションモニター）をお持ちの場合は、酸素飽和度（血液内の酸素の量：SpO₂）の計測

(A) 以下の場合には、かかりつけの産婦人科の先生もしくは保健所に連絡してください。

- ① 1時間に2回以上の息苦しさを感ずる時
- ② トイレに行くときなどに息苦しさを感ずるようになった時
- ③ 心拍数が1分間に110回以上、もしくは呼吸数が1分間に20回以上

④安静にしても酸素飽和度が 93-94%から 1 時間以内に回復しない時

(B) 以下の場合は、すぐに救急車を要請してください。

①息苦しくなり、短い文章の発声も出来なくなった時

②酸素飽和度 (SpO₂) が 92%以下になった時

(A) の場合には、かかりつけ産科医療機関自施設で入院療養、もしくは、各地域で整備された新型コロナ感染妊婦の搬送システム（周産期医療リエゾン、保健所、救急隊など）を用いて、周産期医療が可能な入院病床への早めの入院療養を促すようお願いいたします。

【出典】

(1) 英国、National Health Service 「COVID-19 感染症を患った患者の方々が自宅で経過観察する場合」 <https://www.nhs.uk/conditions/coronavirus-covid-19/self-isolation-and-treatment/how-to-treat-symptoms-at-home/>

(2) 英国産科婦人科学会（RCOG）、「妊娠中の COVID-19 感染」、<https://www.rcog.org.uk/globalassets/documents/guidelines/2021-02-19-coronavirus-covid-19-infection-in-pregnancy-v13.pdf>

2021年8月23日

新型コロナウイルス感染で妊娠中に自宅や宿泊療養（ホテルなど）となられた方へ

妊娠中に新型コロナウイルスに感染された妊婦さんには、日々不安を抱えていらっしゃると思います。妊婦さんに限らず、現在、全国的に新型コロナウイルス感染用の医療体制が逼迫し、限られたベッド数の中で、感染症の症状に応じて自宅療養や宿泊療養（ホテルなど）となっています。妊娠中に新型コロナウイルスに感染されても、8割以上の方は無症状、またはかぜ程度の軽い咳は発熱の症状で収まり、酸素投与以上の治療が必要な方は全体の2割以下ですので、現在無症状の方はご安心していただきたいと思います。

ただし、妊娠中は様々な妊娠に関連した異常は起こりえますし、症状が強くなる方もおられます。そのため、新型コロナウイルスに伴う症状に加えて、妊娠に関連した異常な症状がないかについて十分ご注意くださいことが大切です。私たち産婦人科医は、自宅やホテルでの療養となられた妊婦さんと密に連絡を取り合い、健康チェックを行うように心がけています。

もし妊娠に関連した異常や体調の変化が発生し、入院療養が必要と判断された場合でも、産科医療機関の連携の中で、かかりつけの産婦人科の先生を通して、産科的な対応が可能な入院施設を探すことができます。

迅速に対応することを努めていますが、状況によっては時間を要することもありますので、以下のような変化が起こった場合には、妊婦さんご自身からかかりつけの産婦人科の先生に電話等で連絡いただくようお願いします。

なお、地域によって周産期の医療体制が異なりますので、新型コロナウイルス感染による療養状態となった場合には、かかりつけの産婦人科の先生にその旨を速やかにお伝えいただき、変化が起こった場合の対応をお聞きしてください。

(1) 以下のような妊娠に関連した異常については、かかりつけの産婦人科の先生に連絡してください。

- ・ 性器出血、破水感、頻回の子宮収縮、胎動減少、強い腹痛など
- ・ その他、助産師さん等からの妊婦健診時に言われた症状

(2) 新型コロナウイルス感染症の症状について

まず、以下の健康観察を行ってください。

①呼吸状態、心拍数や呼吸数の計測

②体温

③パルスオキシメーター（サチュレーションモニター）をお持ちの場合は、酸素飽和度（血液内の酸素の量：SpO₂）の計測

(A) 以下の場合には、かかりつけの産婦人科の先生もしくは保健所に連絡してください。

- ① 1 時間に 2 回以上の息苦しさを感ずる時
- ② トイレに行くときなどに息苦しさを感ずるようになった時
- ③ 心拍数が 1 分間に 110 回以上、もしくは呼吸数が 1 分間に 20 回以上
- ④ 安静にしても酸素飽和度が 93-94% から 1 時間以内に回復しない時
(妊娠中は赤ちゃんのために 95% 以上の酸素飽和度が必要です)

(B) 以下の場合、すぐに救急車を要請してください。

- ① 息苦しくなり、短い文章の発声も出来なくなった時
- ② 酸素飽和度 (SpO₂) が 92% 以下になった時

【出典】

(1) 英国、National Health Service 「COVID-19 感染症を患った患者の方々が自宅で経過観察する場合」 <https://www.nhs.uk/conditions/coronavirus-covid-19/self-isolation-and-treatment/how-to-treat-symptoms-at-home/>

(2) 英国産科婦人科学会 (RCOG)、「妊娠中の COVID-19 感染」、<https://www.rcog.org.uk/globalassets/documents/guidelines/2021-02-19-coronavirus-covid-19-infection-in-pregnancy-v13.pdf>

日本産科婦人科学会
理事長 木村 正
日本産婦人科医会
会長 木下勝之